平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　横浜丸魚株式会社　　上場取引所　大
コード番号　8045　URL　http://www.yokohama-maruuo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩瀬　一雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員　(氏名) 成田　秀昭　TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	28,597	△11.8	△268	―	△161	―	△131	―
23年3月期第2四半期	32,406	△5.4	△192	―	△89	―	△15	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△142百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△484百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△19.87	―
23年3月期第2四半期	△2.38	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,574	9,918	61.7
23年3月期	16,048	10,161	61.3

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　9,605百万円　23年3月期　9,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	15.00	15.00
24年3月期	―	―			
24年3月期(予想)			―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	△9.8	△250	―	△50	―	100	―	15.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	7,261,706 株	23年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	656,125 株	23年3月期	655,749 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	6,605,874 株	23年3月期2Q	6,607,204 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．サマリー情報（その他）に関する事項
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（４）追加情報 ・・ 3

３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（４）継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーン（供給網）の回復により、生産・輸出など一部に持ち直しの動きが見られますが、一方、個人消費に直結する雇用・所得環境は依然として改善傾向が見られず、更には原発事故による放射能汚染問題、米国及び欧州の信用力低下に伴う円高の長期化などにより、景気の先行きは非常に不透明な状況となっております。

当社グループの中核事業である水産物卸売事業におきましても、厳しい雇用環境からの個人消費の低迷に加え、原発問題による食品の安全性に対する懸念の顕在化も相まって、依然厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成23年度から平成25年度まで３ヵ年の中期経営計画「MMプラン２nd Stage」を策定し、安全・安心な水産物を安定して供給するグッドリレーションカンパニーを目指すべく、グループ一丸となって取り組んでおりますが、原発問題を始めとした環境の変化は大きく、経費削減を上回る売上減少による売上総利益の減少により、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益において前年同期を下回ることとなりました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は28,597百万円（前年同期比11.8%減）、営業損失は268百万円（前年同期　営業損失192百万円）、経常損失は161百万円（前年同期　経常損失89百万円）、四半期純損失は131百万円（前年同期　四半期純損失15百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（水産物卸売事業）

売上高は23,911百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ2,986百万円（△11.1%）の減収となり、営業損失も123百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ11百万円（前年同期　営業損失111百万円）の減益となりました。

（水産物販売事業）

売上高は4,567百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ813百万円(△15.1%)の減収となり、営業損失も156百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ53百万円（前年同期　営業損失103百万円）の減益となりました。

（不動産等賃貸事業）

売上高は７百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ０百万円(△6.7%)の減収となり、営業利益も９百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ11百万円（△56.1%）の減益となりました。

（運送事業）

売上高は110百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ９百万円(△7.7%)の減収となりましたが、営業利益は３百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ１百万円（38.4%）の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、15,574百万円と前連結会計年度末に比べ473百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金の減少743百万円及び受取手形及び売掛金の増加83百万円並びに商品及び製品の増加183百万円によるものであります。

負債は、5,656百万円と前連結会計年度末に比べ230百万円減少しました。この主な要因は、その他の流動負債の減少237百万円によるものであります。

純資産は、9,918百万円と前連結会計年度末に比べ243百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金の減少230百万円によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は2,059百万円と前連結会計年度末に比べ737百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおいては576百万円の支出となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の減少額86百万円、売上債権の増加額93百万円及びたな卸資産の増加額183百万円並びにその他の流動負債の減少額221百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては18百万円の支出となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出17百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては142百万円の支出となりました。この主な要因は、リース債務の返済による支出43百万円及び配当金の支払額98百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年10月31日に公表いたしました数値から変更はございません。なお、今回発表の１株当たり予想当期純利益の計算は、当第２四半期連結会計期間末の期中平均株式数によっております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（４）追加情報
（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）
第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号　平成 21 年 12 月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号　平成 21 年 12 月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,804	2,060
受取手形及び売掛金	3,489	3,572
有価証券	50	60
商品及び製品	1,015	1,199
繰延税金資産	35	109
その他	180	195
貸倒引当金	△543	△490
流動資産合計	7,031	6,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,153	1,118
土地	771	771
リース資産（純額）	147	102
その他（純額）	103	91
有形固定資産合計	2,175	2,083
無形固定資産		
ソフトウエア	122	122
その他	10	10
無形固定資産合計	133	133
投資その他の資産		
投資有価証券	6,467	6,418
長期貸付金	14	15
破産更生債権等	661	671
繰延税金資産	86	86
その他	53	51
貸倒引当金	△576	△592
投資その他の資産合計	6,706	6,651
固定資産合計	9,016	8,868
資産合計	16,048	15,574

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,687	2,837
未払法人税等	38	8
引当金	186	167
その他	558	321
流動負債合計	3,471	3,334
固定負債		
退職給付引当金	769	764
役員退職慰労引当金	160	74
資産除去債務	29	29
繰延税金負債	1,139	1,154
その他	316	299
固定負債合計	2,415	2,322
負債合計	5,886	5,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	6,278	6,047
自己株式	△366	△366
株主資本合計	7,856	7,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,987	1,980
その他の包括利益累計額合計	1,987	1,980
少数株主持分	318	312
純資産合計	10,161	9,918
負債純資産合計	16,048	15,574

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	32,406	28,597
売上原価	30,344	26,841
売上総利益	2,062	1,755
販売費及び一般管理費	2,254	2,024
営業損失（△）	△192	△268
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	83	85
その他	13	14
営業外収益合計	103	108
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常損失（△）	△89	△161
特別利益		
固定資産売却益	294	－
貸倒引当金戻入額	49	－
その他	1	2
特別利益合計	345	2
特別損失		
固定資産売却損	55	－
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	80	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	23	－
その他	－	3
特別損失合計	159	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	95	△185
法人税、住民税及び事業税	97	3
法人税等調整額	17	△53
法人税等合計	115	△49
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△19	△135
少数株主損失（△）	△3	△4
四半期純損失（△）	△15	△131

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△19	△135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△465	△7
その他の包括利益合計	△465	△7
四半期包括利益	△484	△142
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△481	△138
少数株主に係る四半期包括利益	△3	△4

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	95	△185
減価償却費	146	116
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	23	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△42	△36
賞与引当金の増減額（△は減少）	△10	△19
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	14	△86
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△0	△5
受取利息及び受取配当金	△89	△93
支払利息	1	1
有形固定資産売却損益（△は益）	△238	－
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損益（△は益）	80	21
売上債権の増減額（△は増加）	51	△93
たな卸資産の増減額（△は増加）	△260	△183
仕入債務の増減額（△は減少）	5	149
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4	△0
その他	△36	△214
小計	△263	△628
利息及び配当金の受取額	77	84
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△61	△32
営業活動によるキャッシュ・フロー	△248	△576
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	－
定期預金の払戻による収入	－	6
有価証券の償還による収入	－	50
有形固定資産の取得による支出	△13	△10
有形固定資産の売却による収入	343	－
無形固定資産の取得による支出	△17	△17
投資有価証券の取得による支出	△395	△50
投資有価証券の売却による収入	2	5
投資有価証券の償還による収入	395	－
貸付けによる支出	△7	△8
貸付金の回収による収入	3	7
その他の支出	△1	△0
その他の収入	7	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	316	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△99	△98
少数株主への配当金の支払額	△0	－
リース債務の返済による支出	△54	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154	△142

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△86	△737
現金及び現金同等物の期首残高	2,969	2,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,883	2,059

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。